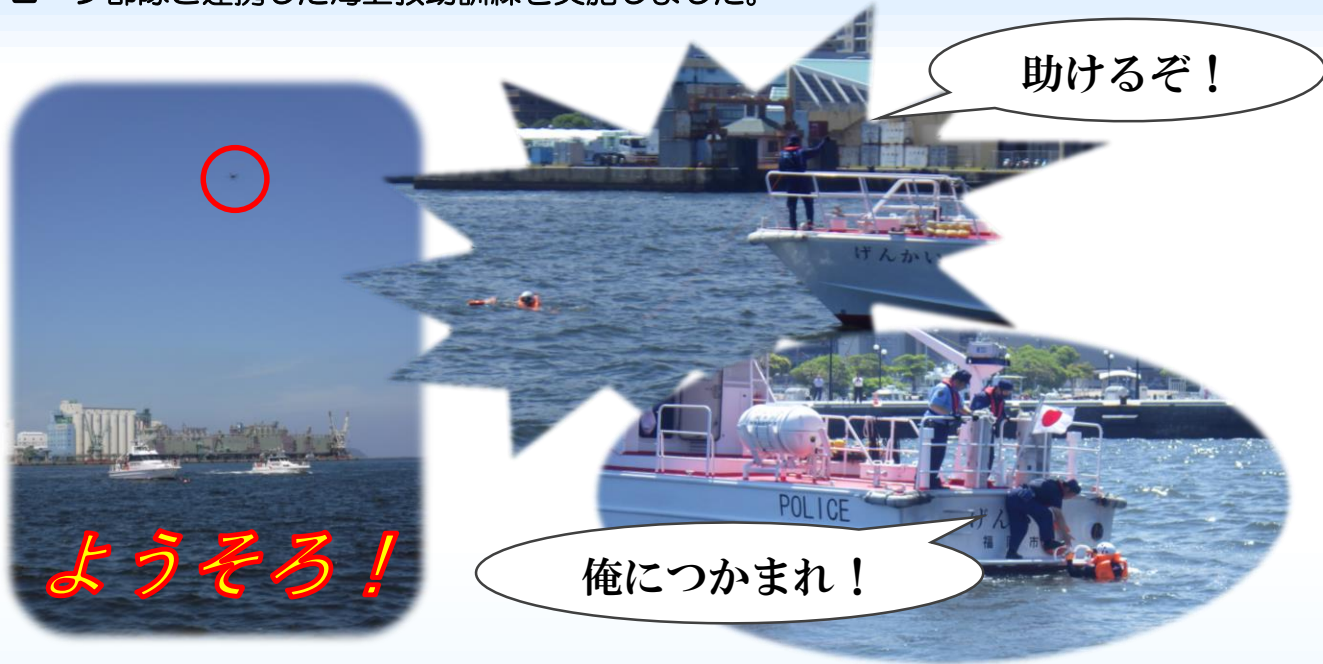


署長のつぶやき



6月12日金曜日、当署管内の博多湾及び中央ふ頭において、豪雨災害に備えてのドローン部隊と連携した海上救助訓練を実施しました。



多くの報道関係者や一般の見学者の皆さんが見守る中、被災者が河川に落下し博多湾沖合に流されたという想定での訓練詳細については、新聞やニュースでご確認いただくのが手っ取り早いのですが、ここでは視点を変えて、ドローンについて少々・・・。

最近では、ドローンという単語が広く認知され、複数のプロペラがついた上下前後左右に移動可能な無人航空機、というイメージが定着していますが、私のなかでドローンと言えば、あるSF映画に登場する作業用ロボットが思い浮かびます（ネットで調べると、実は、私だけではないようです）。

1970年代のアメリカ映画で、内容は宇宙船内で植物を育てる主人公が・・・以下省略、作中で主人公と3台の作業用ロボット（ドローン）との掛け合いが印象的な作品で、他にも警察用ロボットがドローンと呼称されるSFアニメなどもありました。

ですので、私の中でドローンといえば、無人航空機よりも、なんとなくロボットのイメージが強く、実写やアニメなどの映像コンテンツに出てくる大小さまざまなロボットも、ある意味ドローンに分類されるものもあるのでは・・・と悩みは尽きません（我ながらしょうもない悩みですね）。

仕事からちょいと脱線した話になりましたが、ドローンを使っの災害警備訓練など、今更ながら技術の進歩に驚きつつ、これに乗り遅れないようしなければ、と思った災害訓練でした。

